



議会報告会実施報告書

開催日時	2019年5月22日 13時30分 ~15時45分 (昼の部)
開催場所	豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
担当者	小林純子 小林陽子 遠藤武文
参加市民数	31人
実施内容報告	<p>報告への質疑</p> <p>(堀金K氏) 議決された結果ではなく、審議や議論の経過を聞きたい。議員は選挙で選ばれているが、選挙権のない若い世代の声は反映されているかが見えてこない。具体的には新体育館のことや、長峰荘やプールをこれからどうするとか、しゃくなげ荘は建設されたがどうだったか等々、選挙権のない若い人たちの意見、気持ちはどのように議会の中で反映されたのかということを知りたい。</p> <p>(総務環境委員長) 若い世代の意見をどう反映していくか。こういった議会報告会をやっても、選挙権のないような若い人たちに参加してもらうのは難しいだろう。ならば、議会が地元の高校とか中学へ出向いて行って、議会報告会なり意見交換会をしたらどうかということで検討している。</p> <p>(堀金K氏) 市の財政やその健全性について指標があるが、将来負担比率が今どうなっているか、議員はどの程度ご存じか。</p> <p>(総務環境委員長) 市財政部から指標に関する資料は全議員に配付されており、議員個々に勉強しているはずだ。</p> <p>(穂高F氏) 新体育館のことで、健全財政であるからオーケーだという話だが、健全だと判断するにあたって具体的にどういう議論が行われたのか。市民プールの問題でも、最初はとにかくつくった。だけど後になって、もう修理できないから廃止という話。新総合体育館もつくったはいいが、30年後にどうするのかまでの議論はあったのか。</p> <p>(総務環境委員長) 体育館の建設云々については、総務環境委員会における審査はもちろん、本会議においても活発に議論されている。これまでも、定例議会や委員会等でそのたびに議論してきた。</p>

(穂高 F 氏) 個人情報保護条例の罰則に関わる陳情が不採択になったが、本来であれば議会のほうが率先して考えていくことではないのか。

(総務環境委員長) 私たち議員からこういう法律をつくるべきだという形で、陳情がなくてもやるべきという考えはあるかと思う。じっさいに賛成・反対相半ばする中での不採択であった。

(穂高 M 氏) プレミアム付商品券事業について、どのような議論がされたのか。入ってくるお金よりも出費を減らす予算について何か議論があったのか。

(福祉教育委員長代理) プレミアム付商品券事業は、今年 10 月の消費税率引き上げに伴い、低所得者や 0～2 歳の子どもがいる家庭を対象に負担軽減策としてプレミアム額 5,000 円を付した 25,000 円分の商品券を 2 万円で買えるようにするものだが、5,000 円でごまかされている感じが否めず反対するという議論があった。賛否両論あったが、最終的に可決された。

(進行係議員) 国・県の事業は国・県主導であって、それについて市が追従する形で議会も予算を認めたということになるが、やはり十分な議論が必要だという指摘については真摯に受けとめたい。

(豊科 K 氏) 主要農作物種子法の復活等を求める陳情について、9 月議会から 3 月議会の間どのような議論がなされたのか。意見書の提出を求める陳情は、陳情趣旨の是非とは別に、意見書の提出の適否を検討すべき。どう考えているのか。

(経済建設委員長、副議長 答弁するも納得いただけず。)

(穂高 F 氏) 花フェスタの予算 86,360 千円は、どんな議論を経て可決されたのか。国の事業で決まっていることだからと、碌な議論をしないのなら、市議会なんて要らない。

(経済建設委員長) 花フェスの件については(3 月予算議会よりずっと前の委員会で議論してきたので)、新年度予算の審査の中では細かいことについての議論は無かった。

(明科 A 氏) 今の時代に産業振興の中で本当に必要な産業インフラというものがあると思うが、市税収入が 10 年たっても同じだ

	<p>という考え方では、産業育成もままならない。未来に対する投資というものも全く見えず、公共施設の民間売却に反対しない議会には腹立たしい思いだ。本市の主力となる産業インフラを築いてほしい。実効性のあるまちづくりの仕組みを、議会が主体性をもって取り組むべき。</p> <p>(豊科 N 氏) 配布資料で災害復旧費を見ると、表では 150 万円なのにグラフでは 200 万円になっている。これに気付かずに議決したのか。</p> <p>(副議長) グラフのほうは 100 万円単位で表示をされているので 150 万円というのは四捨五入、100 万円を繰り上げということとで 5 が繰り上がるため 200 万円になってしまう。そのためグラフの方はそういう表示になっている。</p> <p>(豊科 N 氏) 災害復旧費が前年比 75% 減は災害のないことを前提にしている、議論が不十分ではないか。</p> <p>(進行担当議員、経済建設委員長) 実際の予算執行と災害復旧費と予備費との関連で、災害のないことを前提にした予算ではないことを説明した。</p> <p>(穂高 E 氏) テレワークセンターの目的と内容が判らない。どんなものなのか。</p> <p>(経済建設委員長) テレワークセンターは穂高支所に隣接した施設の 2 階に設け、ひとり親、シニア、障害者、何らかの理由でフルタイムで働けない就労困難な人を対象に、仕事を紹介する事業。</p> <p>(堀金 H 氏) 上水道の基本料が 10 立方メートルから 7 立方メートルになったのは、徴収額を上げようということなのか。</p> <p>(進行担当議員) 全市的に事業料金が統一されてよかったという認識はあったが、基本料の設定が変わったことについて正確に答えられない。</p>
	<p>○議会活動に対するもの</p> <p>(安曇野 K 氏) 前回、少子化対策について聞いたが、その後この問題についてどのように取り組んできたか。市政の課題でもあるが、議会も少子化対策に少し力を入れてもらいたい。</p> <p>(副議長) 少子化問題については、昨年議会報告会から投げ</p>

<p>意見 提言等</p>	<p>かれられた課題として、3 常任委員会で議論をしてきた。KJ 法を用いてこれまでの議論をまとめる段階である。</p> <p>(豊科 K 氏) 廃油を使った石けんづくりを始めて 30 年近くになる。利用者には好評で喜ばれてきたが、今年の 3 月をもって、石けん作りに適した場所がないということで事業廃止となってしまった。再開に向けて議会の理解をいただきたい。</p> <p>(堀金 U 氏) 穂高プールの説明会で 2 名の議員が活発な意見を出していた。どうして政策提言や政策立案につながらないのか疑問に思った。</p> <p>(議会改革推進委員長) 要望等は議会報告会の実施要項に基づき対処する。</p> <p>(堀金 U 氏) 堀金学校給食センターの市民説明会に参加したが、ほとんどの人が廃止に反対の意見だった。公共施設再配置計画 10 年計画案では給食センターは何も入っていないが、具体的になれば子どもたちの食育はとても大事だと思うので学校給食をどのように進めるのか慎重な対応を要望する。</p> <p>(進行担当議員) 議論が始まったばかり。議会としては極めて慎重な対応をしたいと考えている。</p> <p>(穂高 Y 氏) 議会だよりモニターがスタートしたが、その目的は何か。「市民の声」は市民と議会を結ぶよい企画。市民と議会との交流の場となればよい。</p> <p>(広報委員長) 議会だよりモニター制度導入の目的は、市民の皆さまに読んで頂いた上でよりよくするために忌憚のない意見をもらい、参考にして改善することだ。議会だよりは広聴の権限はないという議論が委員会内にもあるが少しでも市民との交流ができ、市民の声やトピック、特集で、市民に寄り添う形の議会だよりにしていければと思う。</p> <p>(穂高 Y 氏) 学校からの要請で、議員が議会について子どもたちに話をしたと聞いている。将来を担う子どもたちに直接働きかけることは重要な取り組みだ。中学生・高校生との意見交換会を検討中だと聞いたが一部地域の議員が知っているだけで、議会に対応したといえるのか。</p> <p>(進行担当議員) 議長から指示があり、議会改革委員会で今後</p>
-------------------	--

検討することになっている。一部地域の議員、については、議員個人の活動からスタートしているのでまだ全体的な動きになっていないが参考にさせていただきたい。

(穂高 Y 氏) 安心・安全の件について、2010年10月に片山元総務大臣の講演で通学路の安全は行政の責務として守らなければならないと強調されていたことを受け、市長と教育委員会に通学路の安全について、例えば集まりの後に運転者への注意喚起をするよう具体的に提案してきたが、市長から注意喚起を聞いたことがない。5月20日の教育委員会定例会で、市教育委員会が独自に保護者向けに事故防止の注意喚起の通知を出すことを決めたというこれまで教育委員会が県の指導により文書を出すことはあっても独自に出すことはなかった。議員の皆さんはどう考えているか。5月8日の大津での事故後も市長は同じ考えか確認したい。

(進行担当議員) 議員一人一人の覚悟の問題だと思うのでご意見を真摯に受け止めさせていただく。

(堀金 H 氏) プレミアム付商品券は一時的なためエンジンをぶら下げたようで無駄な気がする。対象者でさえもらってもしようがないという声を多く聞いている。市民の代表である議員には、私たちの考えを酌むべく無駄なお金と思われるものは注意してもらいたい。また、花フェスタについて、県や国がやっていて市としては力が入っていないのかもしれないが、8,636万円の市の予算を責任もって考えていくべき。花フェスタを一時的なものとして終わらせるのか。今後、花を咲かせ続けようとするのか知りたい。

(進行担当議員) 国・県の事業、国・県主導で市は追従する形で予算をみとめているが、十分な議論が必要だということについて真摯に受け止めさせていただく。われわれ市議会議員としては国の政策の流れについてはある程度追従するような部分もあるかと思う。

(堀金 H 氏) 独自の考え方がはっきりしている部分があればぜひ議会として議員として考えてほしい。

	<p>(穂高 F 氏) 議員に考えていただきたいのは、強制不妊手術の問題、ハンセン病の問題をみるように、国が正しいということはない。だから国がやっているから正しいという大前提に立たないでほしい。国からのトップダウンでなく、この安曇野市をどうしたいのかが大事だと思う。それに基づいて議会を運営していただきたい。</p> <p>(堀金 K 氏) 農地付き空き家を、転入して新規営農する人だけでなく、市民が活用できるように議員提案して貰いたい。</p> <p>○市政に対するもの</p> <p>(穂高 E 氏) 今年の予算で、市長が挙げた重要項目に自転車を活用したまちづくり、テレワークセンターの設置というのがあるが、その目的や内容について聞きたい。</p> <p>(総務環境委員長) 自転車活用をして、観光、また広く市民の方の健康維持についてやっていこうという市長の考え。既存のやまびこ自転車道を活かすとか、市独自に新たなコース設定をするなど、大学などの研究機関と共同して研究していく。</p> <p>(明科 H 氏) 市税収入が今後増えないという前提でまちづくり、産業を考えるのはおかしい。</p> <p>(明科 H 氏) 老朽化と高額な維持費を理由に公共施設の民間譲渡を計画しているのは、未来への投資を放棄するということ。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

2019年6月13日

安曇野市議会議長

記録係 氏名 小林 純子

議会報告会実施報告書

開催日時	2019年5月22日 19時00分 ～ 20時46分（夜の部）
開催場所	豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
担当委員会	小林純子 小林陽子 遠藤武文
参加市民数	11人
実施内容報告	<p>報告への質疑</p> <p>（堀金0氏） いろいろな事業があるが、その事業のアイデアは市が出してくるのか。議会のアイデアは行政側が受け取って、実行を検討していくというプロセスになっているのか。</p> <p>（副議長） そういうことだが、事業は予算にかかわってくるものなので、議会はチェック機能を果たしている。</p> <p>（穂高Y氏） 住民の意見を吸い上げ市政に反映するのが市議だと思うが、安曇野市になって12年、議員立法したものはあるか。</p> <p>（総務環境委員長） 議員がつくったものは、議会基本条例のみで、市側へ上げた条例はまだ1本もない。（副議長から議員定数条例の定数減の改正条例があると補足。）</p> <p>（穂高Y氏） 三つの常任委員会があるが、議案や予算の審査だけでなく、委員会毎に政策論議を活発に行い、政策提言してもらいたい。</p> <p>（説明補助議員） 市のさまざまな政策は、条例をつくるということに限らず予算をつけるということで実現できるものがたくさんある。日々の市民生活に密着したさまざまな政策を、議会として提案している。</p> <p>（議会改革推進委員長） この議会報告会では市民から意見を聞き、提案を受け、議会の政策提案につなげていきたい。</p> <p>（三郷K氏） 堆肥センターはこのところ休業していたのではないか。今年も19,000千円の予算をつけているが、ちゃんと営業できているのか。</p> <p>（経済建設副委員長） 休業は堆肥原料の滞留が起きて攪拌機が稼働できなくなったことが原因。堆肥の販売も中止していたが、復旧したので3月1日から堆肥の販売を開始した。</p>

	意見 提言等	<p>○議会活動に対するもの</p> <p>(堀金 M 氏) 一つに、議会報告会について、市民の参加者の少なさは市民の関心の無さ、市民と議会との距離がここにあらわれている。議会としてどう評価しているか。この程度の参加者で続ける意味があるか。二つに、議案なりいろいろな検討すべき題材について、会派を超えてフランクに、議員同士の話がまともにできる議会にしてほしい。三つに、参加していて、わくわく感がない。型どおりに、原稿をなぞるようなことでは意味がない。創造的な工夫をしてほしい。四つに、この議案ごと議員ごとの評決のマル・バツ(賛成・反対)に偏りがあるように感じる。全部反対の議員、全て賛成の議員が多い。多様性がないので先行き明るくない印象を受ける。幸いまだ安曇野市は女性議員の構成が少し高いので、思い切ってクォータ制を導入したらどうか。</p> <p>(豊科 K 氏) 安曇野市議会では議員提案がないというが、議員に提案して実現したこともある。豊科インターを安曇野インターに変えることや安曇野マラソンなど。ふだんから議員が市民の中へ入っていき交流し会話をしながら、今どういう問題があるのか把握して活動することが大事ではないか。</p> <p>(副議長) たしかに市民の参加が少ないので、なんとかしたい。場合によっては議会報告会とは別の形で、地域の集会場などへ出向いて市民の声を聞くのもいいのではないか。皆さんのアイデアとか意見を遠慮なく各議員に話してもらいたい。</p> <p>(議会改革推進委員長) 議会報告会への/参加者が少ないことについては、これまでの反省をもとに取り組みを強化した。議会だよりに2回お知らせを掲載。ポスターは早めに出そうということで2月から掲示した。新聞でも告知記事を掲載するなど、努力してきた結果か、去年は出席者が31名のところ、本日は42名になった。</p> <p>(三郷 F 氏) 先日堀金の給食センターの説明会があり、30人ほどの参加者全て反対とのことだった。去年の認定こども園の民営化・統廃合の件も三郷西部と明科北部について廃止ありきの説明だった。市行政は市民の声を聴く気持ちが全くなく、新庁舎の建設も公約違反、住民投票条例を提言しても全く聞く耳をもたない。議会で議論があった新総合体育館建設についても、市民アン</p>
--	-----------	--

ケートさえ最初からやる気がなく、計画は進んでいった。穂高プールや長峰荘、認定こども園統廃合、給食センターにそのしわ寄せがきている。議会は一度も予算案にノーを出したことがないが、本当に住民の声を聴く姿勢があるのか、議会として市民の声を聴く具体的なシステムや方法を聞かせてほしい。

(進行担当議員) 公には議会報告会で市民の皆さんから意見を聴くのが一つの方法だが、広聴については検討の方向で動いている。各議員が議会の一般質問や採決の中で対応しているが、多数決の原理で議会は運営されている組織である。

(三郷 F 氏) 認定こども園が合併特例債で新築されている一方、行政が廃止予定と決めていると思われる認定こども園については建替えの予算や積立てはしていないようだ。堀金の給食センターの設備工事についても説明会で聞く限り予算措置をしているとは思えない。少なくとも教育や福祉、医療について予算がないの問題ではない。議会として行政に働きかけて予算措置の提言や予算案を否決するくらいの勢いで、市民の声を実現するようにやってもらいたい。行政に対する提言を議会としてどうやってやるのか。

(進行担当議員) 議会ではこれから議論を始めるので、行政の意向、考え方、説明を聞いた上できちんと判断したい。決まったというのは予算が議決されたことをいうため、行政側は決まっていないという言い方をするが、着々と準備をしていることは事実だ。予算編成は本来行政の仕事のため議会は予算の提案はできず、行政の提案に対して議論して可決否決するのが議会・議員の主たる役目である。堀金の給食センターについて、市民の負託にこたえきちんと対応する覚悟だ。

(三郷 F 氏) 市民の意見を聴く方法として、客観的に意見を集約できる、例えば議会が住民アンケートをするなど検討を望む。

(穂高 N 氏) 新総合体育館建設について、市の南地域の体育館であれば問題はないと思うが、建てる場所が問題だ。避難場所とのことだが、震災時はインフラが使えなくなるのに南のあの場所にどうやって行くのか。車いすの人はとても行けない。過ちを改めるのにためらうことはないという言葉もある。議員には市民と

よく話をして、計画を差し戻してやるくらいの気概をもってほしい。市庁舎を作ったのに支所も作って、議員が市民の話を聞かないからこんなことになっていると、みんな言っている。

(進行担当議員) ご意見として真摯に受け止める。

(穂高 N 氏) 体育館の維持費がかかることも知っているのか。いいものを作れば 1 億円規模の修理費がかかるがそれは誰が払うのか。体育館建設を決めた人が払えばいいが払わないだろう。私たちの税金をちゃんと使ってもらいたい。

(進行担当議員) ご意見として真摯に受け止める。

(穂高 N 氏) 今はグローバル化の時代で、安曇野市はモデル地区としていい場所だから、人間作りからやってほしい。

(進行担当議員) ご意見として真摯に受け止める。

(三郷 K 氏) 三郷西部・明科北認定こども園の話に関連して、神奈川の民営の園がわずか 3 日前に閉園を発表したが、安曇野市で民営化するとしたら担保を必ずとってほしい。

(進行担当議員) 公の施設なので急に閉園ということはないが、三郷西部は統廃合と民営化との 2 つの議論が進んでいるので、議会の一般質問での指摘により市も地元の検討状況を見守るというスタンスであるので、議会としても注視したい。

(堀金 M 氏) 団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年問題で、医療、介護、福祉についてどんなことが想定されるか、今から議員に真剣に考えてもらいたい。市の方にも焚きつけてもらいたい。

(進行担当議員) 議員として全員が承知しているが、具体的な動きはしっかり肝に銘じて進めていきたい。

○市政に対するもの

(穂高 N 氏) 新体育館をあんな所につくるのは過ちである。本庁舎も支所もつくるなんておかしい。市民の声を聞き、歴史に学び、将来の若者に借金を負わせるようなことをしないでほしい。

(豊科 M 氏) 安曇野市でも少子高齢化で人口がだんだん減ってきて、15 年先には 7 万 8,000 人になると。今、回鹮止めをかけなけ

	<p>ればいけないと思うが、松川村のように45歳以下の方が新築・転入した場合に補助金をつけるとか、なんらかの対策を考えているのか聞きたい。</p> <p>(総務環境委員長) 昨年の議会報告会で、少子化対策は議会でも取り組むべきとの意見が多くあった。議会としてもそれを重く受けとめて、三つの常任委員会ごとに検討してきた。この10月までには何らかの形にまとめようとしているところだ。</p> <p>(三郷K氏) ハーフマラソンの費用対効果を検証しているのか。例えば参加者は何人で、市内宿泊は何人か、お土産はどうだったかとか、事務局に聞いても把握していないという。毎年2,750万円予算を盛って、「はいやりました」だけではだめではないか。薪能や安曇野花火にしても、観覧席を移住希望者に用意するぐらいのことはやったらどうか。</p> <p>(進行担当議員) マラソン大会、薪能、花火のいずれも市が補助金を出し実行委員会形式でやっているため、市が十分に把握できていないことはあるかもしれない。貴重なご提言として受け止める。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

2019年6月13日

安曇野市議会議長

記録係 氏名 小林 純子

第6回議会報告会のまとめ～市民からの意見・提案等への対応について

《議会、議員に対するもの》

1. 住民の意見を吸い上げ市政に反映するのが市議だと思うが、安曇野市になって12年、議員立法したものはほとんどない。どうして政策提言や政策立案につながらないのか疑問に思う。三つの常任委員会があるので、議案や予算の審査だけでなく、委員会毎に政策論議を活発に行い、政策提言や議員立法に頑張ってもらいたい。
2. 選挙権のない若い人たちの意見や気持ちを、どのように議会に反映しているか。
3. 市の財政やその健全性について指標について、議員は健全な財政かどうか判断できるようにしっかり勉強してほしい。
4. 意見書の提出を求める陳情は、陳情趣旨の是非とは別に、意見書の提出の適否を検討すべきではないか。
5. 花フェスタの予算 86,360 千円は、どんな議論を経て可決されたのか。国の事業で決まっていることだからと、碌な議論をしないのなら、市議会は要らない。
6. 議案なりいろいろな検討すべき題材について、会派を超えてフランクに、議員同士の話がまともにできる議会にしてほしい。
7. 全部反対の議員、全て賛成の議員が多い。多様性がないので先行き明らかな印象を受ける。幸いまだ安曇野市は女性議員の構成が少し高いので、思い切ってクオータ制を導入したらどうか。
8. 安曇野議会は一度も予算案にノーを出したことがないが、本当に住民の声を聴く姿勢があるのか。議会として市民の声を聴く具体的なシステムや方法を聞かせてほしい。
9. 教育や福祉、医療について「カネがないからできない」という問題ではない。議会として行政に働きかけて予算措置の提言や予算案を否決するくらいの勢いで、市民の声を実現するようにやってもらいたい。
10. 議員には市民とよく話をし、計画を差し戻してやるくらいの気概をもってほしい。

11. 市民の意見を聴く方法として、客観的に意見を集約できる、例えば議会が住民アンケートをするなど検討を望む。
12. 市税収入が10年後も変わらないという考え方では、産業育成もままならない。未来に対する投資というものも全く見えない。公共施設の民間売却に反対しない議会には腹立たしい思いだ。本市の主力となる産業インフラを築いてほしい。実効性のあるまちづくりの仕組みを、議会が主体性をもって取り組むべき。
13. 前回、少子化対策について聞いたが、その後この問題について議会はどのように取り組んできたか。市政の課題でもあるが、議会も少子化対策に少し力を入れてもらいたい。
14. 「私流にちょっとうるさいことを言うけれども」と前置きして、一般市民向けの説明会で議員が発言することがあるが、一般市民の発言する機会を奪って議員が発言するのはどうかと思う。議員は議会で一般質問や各委員会で発言できる。
15. 議会だよりモニターがスタートしたが、その目的は何か。「市民の声」は市民と議会を結ぶよい企画。
16. 学校からの要請で、議員が議会について子どもたちに話をしたと聞いている。将来を担う子どもたちに直接働きかけることは重要な取り組みだが、さらに検討が必要だと思う。
17. 国・県の事業だからといって、プレミアム付商品券や花フェスについて市の予算も使うのだから責任をもって考えていくべき。国からのトップダウンでなく、この安曇野市をどうしたいのかに基づいて議会を運営してもらいたい。
18. 農地付き空き家を、転入して新規営農する人だけでなく、市民が活用できるように議員提案してもらいたい。
19. 団塊の世代が75歳以上になる2025年問題で、医療、介護、福祉についてどんなことが想定されるか、今から議員に真剣に考えてもらいたい。

《議会報告会に関するもの》

20. 議会報告会について、市民の参加者の少なさは市民の関心の無さ、市民と議会との距離がここにあらわれている。議会としてどう評価しているか。この

程度の参加者で続ける意味があるか。

21. 議決された結果ではなく、審議や議論の経過を聞きたい。
22. 型どおりに、原稿をなぞるようなことでは意味がない。創造的な工夫をしてほしい。

.....

議会改革推進委員会（1、2、3、5、6、7、8、9、10、11、12、13、16、
17、20、21、22）

議会広報特別委員会（1、6、15）

議会運営委員会（1、4、6、9、10、11、14、16、17）

総務環境委員会（1、6、9、12、10、13、16、17）

福祉教育委員会（1、6、9、12、10、13、16、17、19）

経済建設委員会（1、6、9、10、12、13、16、17、18）

※9、12、13、18、19については、市長・行政に対するものとも受け取れるので、双方で対応する必要があるのではないか。

《市長・行政に対するもの》

23. 市長が挙げた重要項目にあげた自転車を活用したまちづくり、テレワークセンターの設置についてききたい。
24. 上水道の基本料が10立方メートルから7立方メートルになったのは、徴収額を上げようということなのか。
25. 廃油を使った石けんづくりを復活してほしい。
26. 堀金学校給食センターの民営化について、子どもたちの食育はとても大事だと思うので学校給食をどのように進めるのか慎重な対応を要望します。
27. 住宅購入費の助成は、過疎地域に住もうという人にこそ必要ではないか。集住地域より過疎地域の活性化を図るという視点で考えてほしい。
28. 通学路の安全は行政の責務。市長から注意喚起を聞いたことがない。市教育委員会は独自に保護者向けに事故防止の注意喚起の通知を出すことを決め

た。市としての取り組みも望む。

29. 市税収入が今後増えないという前提でまちづくりや産業振興を考えるのはおかしい。老朽化と高額な維持費を理由に公共施設の民間譲渡を計画しているのは、未来への投資を放棄することになる。
30. 体育館の維持費がかかることも知っているのか。いいものを作れば1億円規模の維持費がかかる。税金をちゃんと使ってほしい。
31. 今はグローバル化の時代で、安曇野市はモデル地区としていい場所だから、人間作りからやってほしい。
32. 神奈川の民営の保育園が閉園のわずか3日前に発表するということがあったが、安曇野市で民営化するとしたら、このようなことにならないような担保を必ずとってほしい。
33. 松川村のように45歳以下の方が新築・転入した場合に補助金をつけるとか、少子高齢化・人口減少問題について、なんらかの対策を考えているのか聞きたい。
34. ハーフマラソンの費用対効果を検証しているのか。例えば参加者は何人で、市内宿泊は何人か、お土産はどうだったかとか、事務局に聞いても把握していないという。毎年2,750万円予算を盛って、「はいやりました」だけではだめではないか。
35. 薪能や安曇野花火にしても、観覧席を移住希望者に用意するぐらいのことはやったらどうか。